

ミラー療法とは何だろう



脳の錯覚を利用した リハビリテーション

鏡を使って「麻痺した腕が動いた！」と脳を錯覚させ肯定的な**視覚フィードバック**を作り出します。「麻痺した手が動いた！」という良いイメージが、**随意性の向上**につながるのではないかとされています



アビリティ共生デイは9月にリハビリの要素を含んだD.I.Y.にてミラーボックスを作成し、**ミラー療法**を実施してみました。

作成工程



①段ボールを切る

立位でカッターを使用する事で**立位バランス**訓練につながります

②ガムテープで形を整える

ガムテープをちぎったりきれいに貼る事で手指の**巧緻動作**訓練にもなります



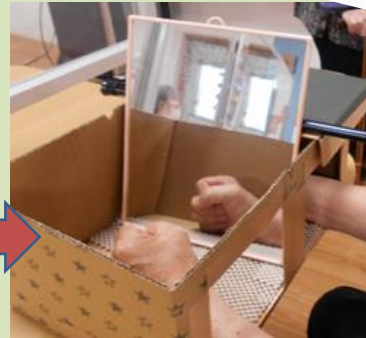
③完成

頑張りました



ミラー療法は個人差はありますが**幻肢痛**や脳卒中後の**神経痛**、**運動麻痺の改善**に効果があると言われています

手指、前腕の関節運動を促しています



ピンチ動作



物品操作により麻痺側に意識を集中させます



にぎり動作



つかみ動作



つまみ動作



現在約15名の片麻痺の方がいます。**随意性、巧緻性の向上**や、**把持動作や食事動作等の獲得**を目指し工夫して訓練を行っています。